

氏名	塚 脇 重 篤
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 4 3 3 号
学位授与の日付	昭和45年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	Kolpomikroskop の口腔領域疾患への応用 (Stomatomikroskopie)
論文審査委員	教授 橋 本 清 教授 高 原 滋 夫 教授 田 中 早 苗

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

著者は昭和39年1月より昭和45年1月までの、岡山大学医学部口腔外科教室で取扱った、外来および入院患者中 127例（癌腫75例、肉腫2例、悪性黒色腫4例、良性腫瘍16例、炎症性疾患16例その他の疾患14例）について Kolpomikroskop により観察 (Stomatomikroskopie) を行った。また正常対照として、臨床的に粘膜に異常を認めない20例（男10例、女10例、年齢20～40才）について観察を行った。

I. 染色条件

- 1) 2～5% Evans Blue, Pontamine Sky Blue は、角化せる表層細胞（染色時間1～2分）および細胞質を主体にした染色（10～30秒）に適する。
- 2) 2～3.5% Toluidine Blue は核を主体にした染色（染色時間10～30秒）に適する。
- 3) 潰瘍を形成しているものには1～2% Toluidine Blue（10～30秒）が適していた。

II. 正常細胞所見

- 1) 硬口蓋、歯肉部は、角化せる表層細胞のため核は点状または消失していることが多い。
- 2) 頬、唇、口底では、核は大きさは大体平等で濃紫色に染色され、細胞質は多角形で淡染、規則正しく配列され、硬口蓋、歯肉部よりやや大きい。
- 3) 毛細血管像は、細長い Loop（係蹄型）または樹枝型で規則正しく配列し、頬唇部が歯肉部より

や、脚部が長い。

Ⅲ. 悪性腫瘍所見

- 1) 毛細管血像は血管肥大，異型血管像が著明である。
- 2) 細胞質はほとんど染色されない。
- 3) 細胞配列は乱れが顕著である。
- 4) 核は密集性で，濃染又は多染性であり，境界不明瞭で大小不同性，多形性が著明である。

Ⅳ. 正診率

Stomatomikroskopie の正診率は76.5%で同時に行った細胞診は83.9%，両方併用して90.1%まで向上せしめえた。

Stomatomikroskopie は細胞診におけるごとく標本採取，染色などに時間を要せず，また病巣を経過観察することができる利点を有する。したがって，適応症例を選択し，特に細胞診との併用により口腔内悪性腫瘍の補助診断として優れたものである。

(昭和45年12月30日 日本臨床細胞学会雑誌 第9巻第2号に掲載予定)

論文審査の結果の要旨

本研究は Kolpomikroskop を口腔領域の諸疾患にはじめて応用し，粘膜スメヤ及び診査組織診の結果と対比しながらその診断的価値を追及した成果である。口腔内の悪性腫瘍の場合にも本法が極めて有力な補助診断法であることを立証した。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。